

施策カルテ

1 施策の位置付け

担当課 スポーツ振興課

総合計画 政策の柱	市民の学び意欲と豊かなこころを育むために	政策名 (基本施策名)	生涯にわたるスポーツ活動を促進する	取組の 基本方向	「生涯にわたるスポーツ活動を促進する」ため、市民が自分に合ったスポーツに親しむための「スポーツ活動環境の充実」、より効果的にスポーツ活動を促進するための「スポーツを支える人材の育成、団体の活性化」に、重点的に取り組めます。	政策目標 (基本施策目標)	市民それぞれの目的に応じた自主的・継続的なスポーツ活動が活発化し、暮らしの中にスポーツがより深く浸透しています。
--------------	----------------------	----------------	-------------------	-------------	---	------------------	--

2 施策の現状と達成状況、課題の抽出

①施策名	スポーツ活動環境の充実		④施策の達成状況	施策指標(単位)						達成率 (%)						
	②施策目標			H19:基準		H20	H21	H22	H23		H24:目標					
市民が主体的に自分に合ったスポーツに取り組んでいます。				実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	-----						
③施策を 取巻く環境	国・県等の 動向	国においては、平成22年8月に「スポーツ立国戦略」を策定し、すべての人々がスポーツの楽しさや感動を分かち、互いに支え合う「新たなスポーツ文化」を確立することを目指している。また、県においては、本市の競馬場跡地などで「総合スポーツゾーン」構想を進めている。		指標① (総合計画 に基づく指 標)	20歳以上の市民の週1回以上のス ポーツ活動実施率(%) (中核市行政水準調査から)		-----	34	36	39	41	44	84.1%			
		本年3月11日に発生した「東日本大震災」により、多くのスポーツ施設に甚大な被害が発生し、その修繕や安全性確保のために多くの費用や期間が必要である。			-----	31	38	38	37	-----	#DIV/0!					
	外部意見 その他	市議会からは、地域スポーツクラブの育成や市体育館の早期整備、ジャパンカップサイクルロードレースの充実などについて、一般質問等により指摘を受けている。また、市長へのメールなど、地域におけるスポーツ活動の推進、スポーツ施設や場の充実について意見をいただいている。			指標②			-----							#DIV/0!	
					指標③			-----								
				指標④ (特記事項)									-----			
⑤市民意識 調査結果	市民の 施策満足 度	31.2%	市民の 施策重要 度	53.6%	達成度 (単年度目標)		● 達成している (90%以上)	概ね達成 (70%~90%未満)	● 達成していない (70%未満)	説明	地域スポーツクラブの新規設立地区は無かったものの、現在、豊郷、城山の2地区において、設立準備が進んでいる。スポーツ施設利用者数も東日本大震災の影響で昨年度より減少しているものの、スポーツ施設の整備を進めるとともに、各種大会の観客者数や参加者数は目標値を上回っている。		⑦現状分析 と課題の抽出 (③⑤⑥を踏まえた分析)	成果が見られる点	マラソン大会の参加者やジャパンカップサイクルロードレースの観客者数は過去最高となるとともに、全国スポーツ・レクリエーション祭開催に向けた周知のためのイベント等出展数も目標値を上回っている。また、スポーツ施設の計画的な整備・改修やスポーツ広場整備補助金などにより、市民がスポーツに親しむ環境が整いつつある。	
	必要性・緊急性 (住民・社会ニーズ)		● 増加している	横ばい	減少している	説明	少子高齢化の進行や地域コミュニティの希薄化などともない、健康づくりや生きがいづくり、まちづくりなどスポーツの果たす役割は増大しており、身近な場所でスポーツができる環境の整備やスポーツをするきっかけとなる事業の充実が求められている。	改善の必要な点	身近な場所でスポーツができる環境を整えるため、さらなる地域スポーツクラブの設立・運営を積極的に支援していくことが必要である。また、東日本大震災による被災施設の修繕に全力で取り組むとともに、人口減少社会や厳しい財政状況などに応じたスポーツ施設のあり方について検討する必要がある。							
	適切性 (適切な事務事業の 選択、実施)		● 十分である	不十分な事業が 一部ある	不十分な事業が 複数ある	説明	各種大会の開催やスポーツ施設の整備、また、ジャパンカップサイクルロードレースにおける中心市街地レース(クリテリウム)の開催などにより、市民がスポーツに親しめる機会が充実されるなど、適切な事務事業が実施されている。									
	有効性 (政策目標への効果)		● 十分である	やや不十分である	不十分である	説明	ジャパンカップサイクルロードレースやマラソン大会などの各種大会の開催や計画的な施設の整備などにより、スポーツ活動環境の充実に効果をあげている。									

3 今後の取組方針

⑧取組の 考え方	総論	東日本大震災による被災施設の修繕に優先的に取り組む。また、市民が主体的に自分に合ったスポーツに取り組めるよう、身近な場所で気軽にスポーツに親しめる、地域スポーツクラブの設立・運営を積極的に支援し、各種スポーツ大会・教室を開催するとともに、今後のスポーツ施設のあり方について検討していく。	⑨政策評価 会議意見	<ul style="list-style-type: none"> 市民が自分に合ったスポーツに親しむため、東日本大震災による被災施設の復旧に優先的に取組み、地域スポーツクラブの設立・運営を積極的に支援し、各種スポーツ大会・教室を充実させるなどにより、市民のスポーツ活動実施率を増加させていく。 身近な場所で気軽にスポーツに親しめるよう、地域スポーツクラブの設立・運営を支援する。また、ジャパンカップ(クリテリウムを含む)や全国スポーツ・レクリエーション祭などの周知啓発に努めるとともに、さらなる盛り上げ方策を検討する。 スポーツ施設等の整備については、東日本大震災の被災状況や老朽化、社会状況の変化などを見極め、あり方について検討していく。
	重点事業	地域スポーツクラブ活動支援について、設立クラブ数を増加させるため、クラブ設立に向けた気運醸成のための説明会をあらゆる機会をとらえて積極的に行うとともに、既存クラブの早期自立に向けた支援を継続する。ジャパンカップサイクルロードレースの開催について、本市のPR・イメージアップ、地域の活性化に資するため、クリテリウムの開催を継続する。全国スポーツ・レクリエーション祭の開催について、平成23年度は開催年度であり、引き続き周知啓発に努め、本祭典を実施する。		
	見直し事業	スポーツ施設等の整備については、スポーツ施設整備計画に基づき計画的に整備を進めてきたが、東日本大震災により多くの施設が被災したことから、被災施設の修繕を優先させる。		

4 施策を構成する事務事業一覧

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	H21	H22	H21	H22	重点度 (A~C) ※施策目標 に対する 寄与度	事業の 方向性	施策目標を達成するための取組方針
					目標値	目標値	事業費 (千円)	事業費 (千円)			
1	地域スポーツクラブ活動支援 担当課 スポーツ振興課	市民	H14	地域スポーツクラブ数	6	10	7,748	6,498	A	継続	身近な場所で気軽にスポーツに親しむために、地域スポーツクラブは有効であることから、新たなクラブ設立に向け、あらゆる機会をとらえ説明を強化するとともに、設立準備組織に支援する。また、既存クラブの自立に向けた支援を継続する。
					4	4					
2	スポーツ施設等の整備 担当課 スポーツ振興課	市民、利用者	-	スポーツ施設利用者数	1,315,000	1,340,000	177,803	406,736	A	見直し	東日本大震災による被災施設の修繕に優先的に取り組むとともに、市民ニーズや施設の老朽化等の状況を的確に捉えながら、計画的な施設改修や機能向上を行うとともに、人口減少社会や厳しい財政状況などに応じたスポーツ施設のあり方について検討する必要がある。
					1,445,000	1,385,000					
3	ジャパンカップサイクルロードレースの開催 担当課 スポーツ振興課	市民、市外在住者	H4	観客者数	61,000	62,000	67,856	89,000	A	継続	ジャパンカップサイクルロードレースは、本市サイクリススポーツの根幹をなす大会であり、サイクリススポーツの振興、本市のPR・イメージアップ並びに地域活性化に資するため、中心市街地レース(クリテリウム)を継続する。また、地域の活性化を図るため、盛り上げ方策を検討していく。
					68,000	70,000					

様式 2

4	体育文化振興公社運営補助金	財団法人	S 5 6	スポーツ施設利用者数 (体文公社が管理する施設)	1,030,000	1,150,000	167,831	177,587	A	継続	宇都宮市体育文化振興公社は、本市のスポーツ振興事業の主体的役割を担っていることから、引き続き補助するとともに、新公益法人制度のもと、速やかに公益財団法人に移行できるよう、財団と協議を進める。
	担当課				スポーツ振興課	1,181,621					
5	全国スポーツ・レクリエーション祭の開催	市民、市外在住者	H 2 2	イベント等出展数	－	5	－	4,108	A	継続	開催年度である平成23年度は更なる周知啓発に努めるため、引き続き市主催イベント等への出展や、独自のPRイベントを企画して実施するとともに、関係団体等と連携協力のもと本祭典を実施する。
	担当課				スポーツ振興課	－					
6	冒険活動事業（学校利用）	小4児童、中1生徒	H 8	施設利用者数	8,818	9,050	40,631	40,679	B	継続	次代を担う心豊かな宮っこづくりの推進のため、冒険活動事業は有効であることから、義務教育の中で継続して実施していく。また、平成23年度からの小中学生を対象とした新たな宿泊体験学習に向けた効果的なプログラムの開発や市内小中学校との情報交流を強化する。
	担当課				スポーツ振興課	9,081					
7	マラソン大会の開催	市民、市外在住者	S 6 2	参加者数	5,000	5,500	5,111	5,111	B	継続	市民の健康づくり、生きがいつくりにマラソン大会は効果的であり、今後も参加者の増加が続くと予想されることから、安全かつスムーズな大会運営に努める。また、大会会場である清原中央公園では手狭になることが予想されるため、大会の運営方法や開催場所などの検討を進める。
	担当課				スポーツ振興課	5,594					
8	市民体育大会の開催	市民	S 3 8	参加者数	4,151	4,268	4,081	3,967	B	継続	市民体育大会は、本市競技スポーツの振興に寄与する大会であるため、市民ニーズを踏まえるとともに、競技団体と協議を行い、種目の追加・廃止など大会に参加しやすい環境を整え、継続する。
	担当課				スポーツ振興課	4,151					
9	スポーツ大会出場補助金	スポーツ団体・個人	－	スポーツ大会参加者数	350	350	1,640	1,189	B	継続	全国大会へ参加する際、出場に係る負担が大きいことは、スポーツ振興の妨げになる。よりレベルの高い大会に出場することで競技力が向上することから、継続的に支援を行う。
	担当課				スポーツ振興課	372					
10	スポーツ広場整備補助金	スポーツ広場を設置する団体	H 2 1	補助件数	4	4	1,048	4,258	B	継続	身近な場所で気軽にスポーツに親しむ場を充実するために、スポーツ広場の整備は有効であるため、補助を継続する。
	担当課				スポーツ振興課	2					
11	スポーツ大会出場補助金（応援）	県外で開催される全国大会に出場する小中高	H 2 1	応援補助実施校数	2	2	1,920	680	C	継続	応援団を編成する大規模な全国大会への参加は、競技力の向上及び本市のPRにつながるが、参加にかかる負担が大きいことはスポーツ振興の妨げになることから、継続的に支援を行う。
	担当課				スポーツ振興課	3					
12	冒険活動事業（一般利用）	市民	H 8	主催事業参加者数	3,000	3,000	10,850	8,771	C	継続	市民の野外でのレクリエーション活動を推進するため、今後も関係団体等と連携を深めながら、体験学習施設としての機能を高め、青少年の健全育成や家族のふれあい、指導者養成などの多様な市民のニーズに応えながら事業を推進する。
	担当課				スポーツ振興課	2,266					
13	ニュースポーツ普及促進事業	市民	H 1 4	参加者数	130	130	114	308	C	継続	地域において、市民がより自発的に、いつでも気軽にスポーツに取り組めるよう、市ホームページを活用したニュースポーツの情報提供や用具の貸出、大会の開催を行う。
	担当課				スポーツ振興課	82					
施 策 事 業 費 合 計							486,633	748,892			